

||||| 災害の特徴と注意点 |||||



土石流

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるものをいいます。その流れの速さは時速20~40kmになり、一瞬のうちに周辺を壊滅させます。



がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。突然起きるため、逃げ遅れて大きな被害が出ます。

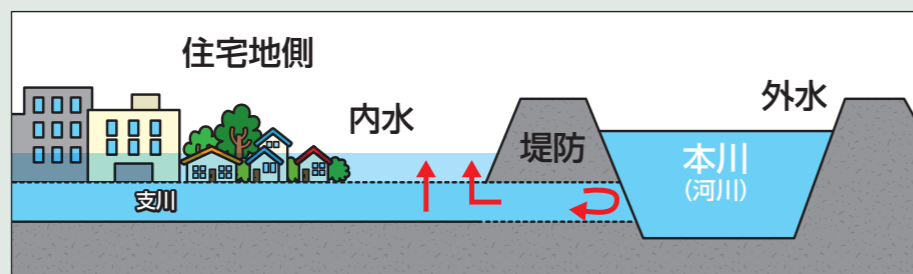


地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。甚大な被害を及ぼし、一旦動き出すと停止させることが困難となります。

洪水 (はん濫の種類: 内水・外水はん濫)

一般的な洪水を「外水はん濫」といい、堤防から水が溢れなくても、河川へ排水する川や下水道の排水能力の不足などが原因で、降った雨を排水処理できなくて引き起こされる氾濫を「内水はん濫」といいます。

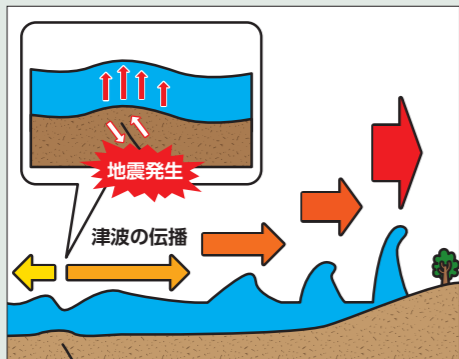


津波の特徴

○津波の速さと高さ

津波の速さは海が深いほど早く、水深10mの海岸付近でも時速30km以上の速さとなり、津波が見えてから逃げたのでは間に合いません。

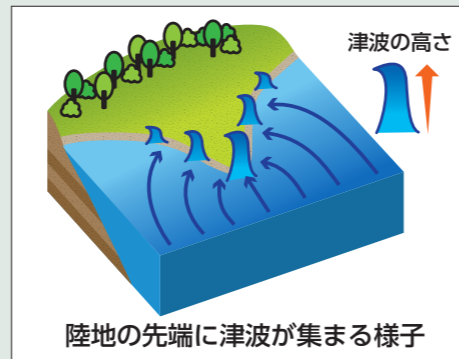
また、津波は海が浅くなるにつれ急激に高くなる性質もあり、陸地や河川を遡上することもあります。



○津波が高くなる場所

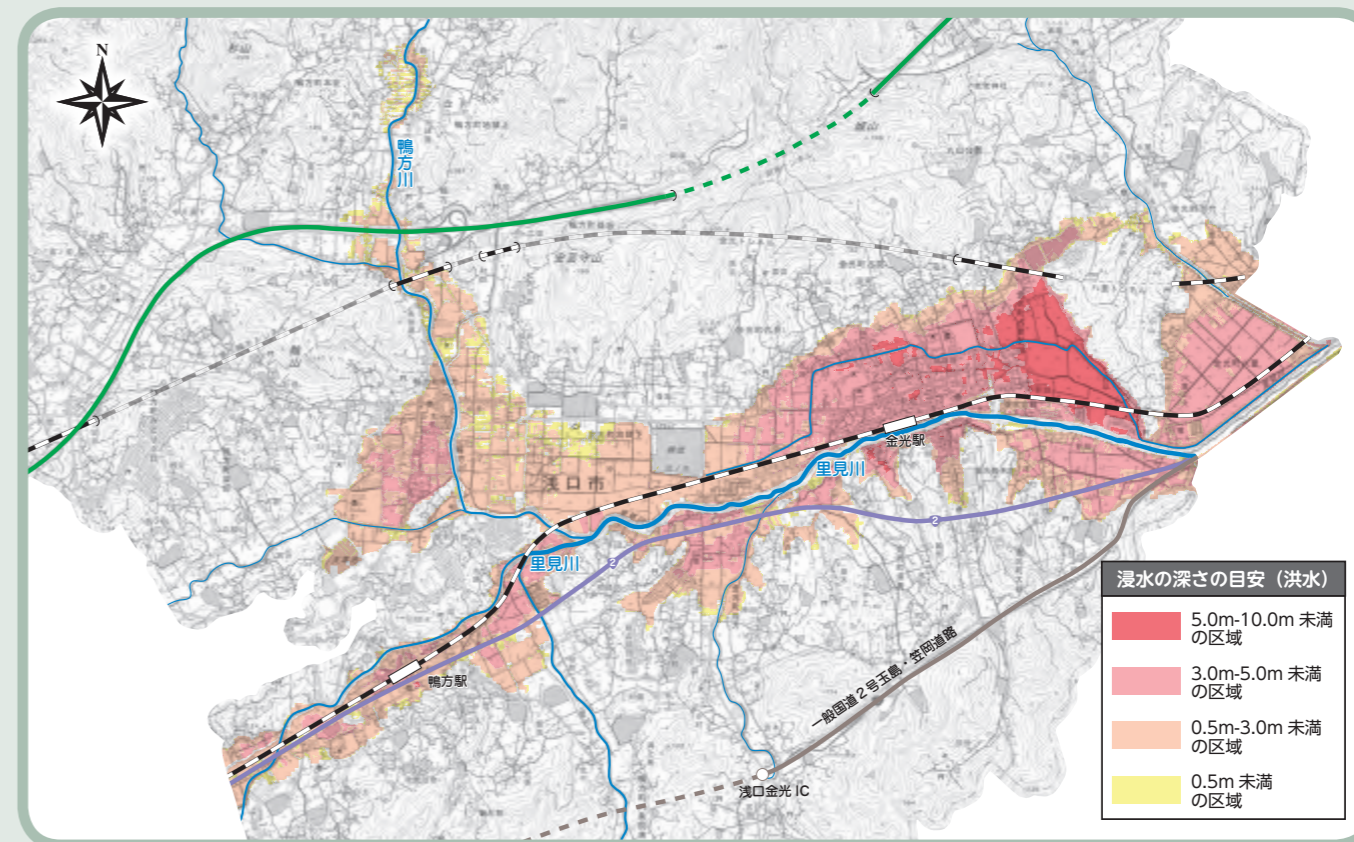
津波の高さは海岸付近の地形によって大きく変化します。

陸地の先端やV字型の湾の奥など、特殊な地形の場所には津波が集中するため特に注意が必要です。また、津波は繰り返すことから、後から来る津波の方が高くなることもあります。



||| 洪水ハザードマップ(想定最大規模) |||

この図は、里見川及び鴨方川で想定し得る最大規模の洪水浸水想定区域で、1000年に一度起こるかどうかの猛烈な豪雨(流域の24時間総雨量740mm)により堤防が決壊した場合の浸水の深さを表示したものです。



||| 津波ハザードマップ |||

下の図は国が公表した南海トラフ巨大地震による津波高及び浸水域等の推計を受け、津波防災地域づくりに関する法律第8条第1項の規定により県が設定した津波浸水想定を基に作成しました。

